令和７年

ホタテガイ浮遊幼生調査結果（No.１）

宗谷地区水産技術普及指導所枝幸支所

１回目（４月８日）の調査結果をお知らせします。

今年は水温が高めに推移していたため、例年４月中旬から開始していた調査を１週間早めて行いました。

■浮遊幼生の出現状況

ホタテガイのラーバは、0.3個/ﾄﾝ出現していました。

その他２枚貝は14.8個/ﾄﾝ出現していました。

■水温（乙忠部水深25m［中］地点の水深10m）

５．５℃

※最も早く調査したため同地点で比較する水温はありませんが、山臼地区（H25－R6）の平均からみると0.6℃程高めになっています。

■透明度

沖　６．５m、中　６．０m、陸　６．０m

※あまり濁りは見られませんでした。

■今後の予定

次回の調査は４月１５日に予定しています。

浮遊幼生出現状況　乙忠部沖（水深20・25・30m定点）

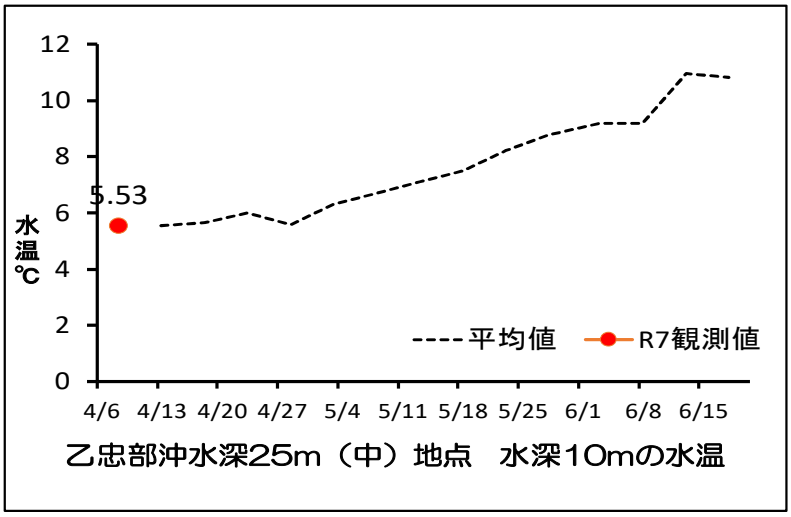
（口径22cm垂直曳き）

月　日		4月16日															
殻長μ		20m	25m	30m	平均	20m	25m	30m	平均	20m	25m	30m	平均	20m	25m	30m	平均
小型幼生	140																
	150			0.9	0.3												
	160																
	170																
	180																
	190																
大型幼生	200																
	210																
	220																
	230																
	240																
付着サイズ	250																
	260																
	270																
	280																
	290																
	300																
ホタテガイ 計		0.0	0.0	0.9	0.3												
その他二枚貝		3.9	32.6	7.9	14.8												

＊数字は全て海水1トン当たりに換算した数値です。

令和7年　水温(℃)

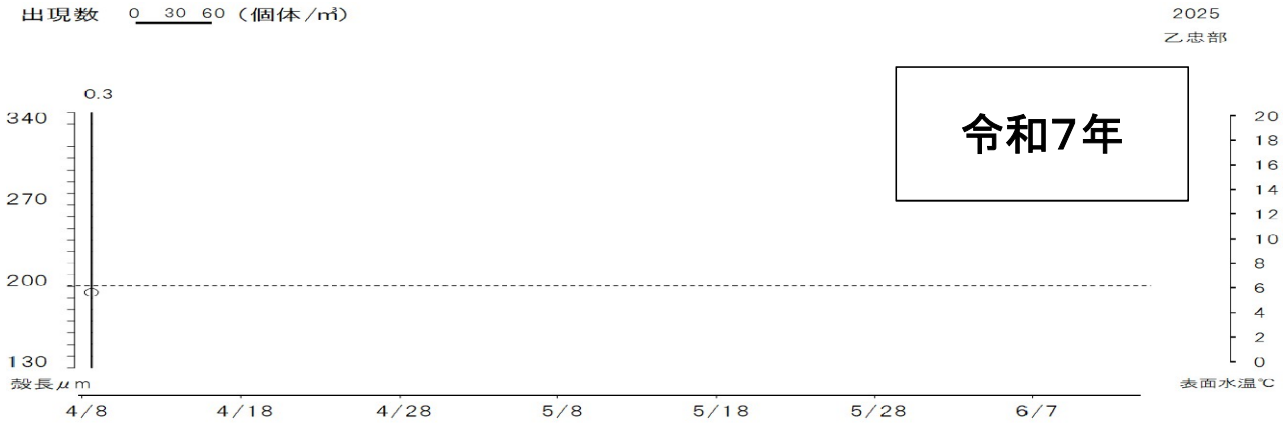
調査定点		4/8				
水深20m（陸）	0m	5.9				
	5	5.4				
	10	5.4				
	15	5.4				
	20	5.4				
水深25m（中）	0m	5.7				
	5	5.5				
	10	5.5				
	15	5.5				
	20	5.5				
	25	5.5				
水深30m（沖）	0m	5.7				
	5	5.6				
	10	5.6				
	15	5.6				
	20	5.6				
	25	5.6				
	30	5.6				

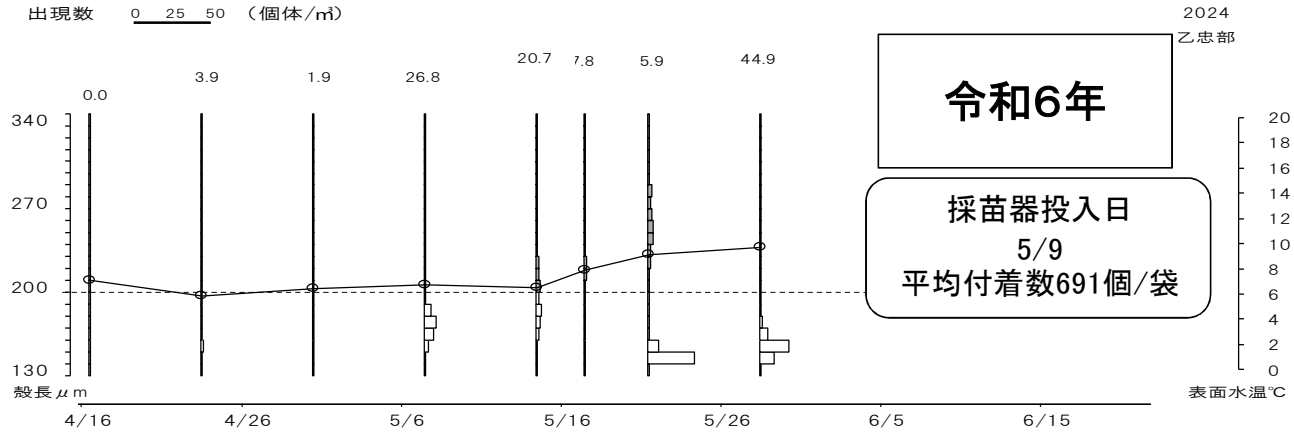


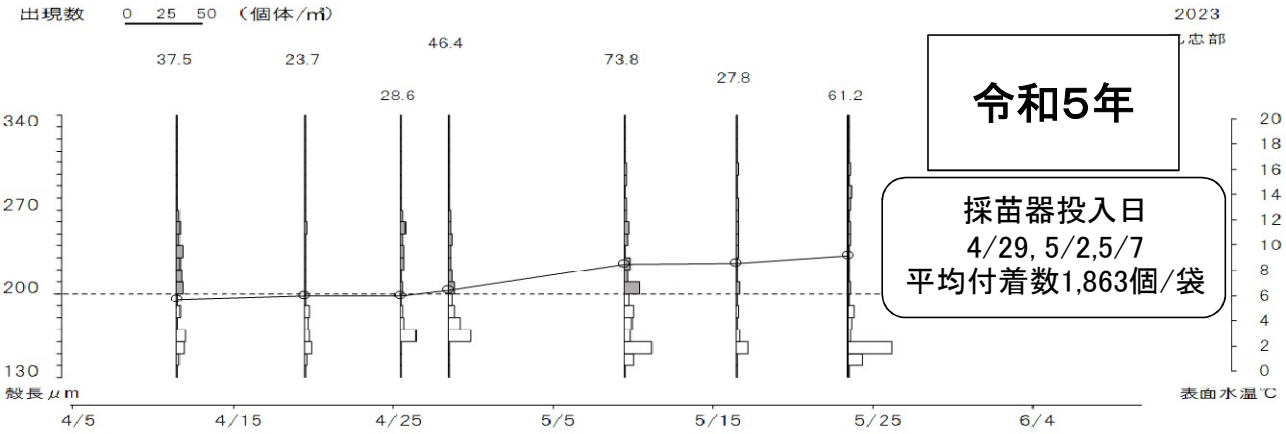
乙忠部沖水深25m（中）地点　水深10mの水温

●殻長組成の推移

※出現数は3地点の平均値、表面水温は25m(中)地点の表層水温







他地区の情報

※成熟度調査結果

1　羽幌（4／2）
　〇2年貝・生殖巣指数24.5（♂:22.4、♀26.5）
　〇3年貝・生殖巣指数28.8（♂:27.9、♀:29.7）

2　増毛（4／2）
　〇3年貝・生殖巣指数25.8（♂:27.0、♀24.1）

3　臼谷（4／2）
　〇2年貝・生殖巣指数24.0（♂:23.4、♀24.7）
　〇3年貝・生殖巣指数27.6（♂:26.9、♀:28.1）

留萌管内における養殖貝の成熟度指数はかなり高くなっているものの、まだ産卵している兆候は見られていないとのことです。